

日本会議 愛知県本部  
〒464-0836

TEL:052-763-4678 FAX:052-763-4588  
愛知県名古屋市千種区菊坂町3-5-302 E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp



# あいち通信 第六十八号

「日本の建国を祝う愛知県民の集い」開催される

二月十一日、紀元節の佳き日に、アパホテル名古屋錦（名古屋市中区）にて本会は開催された。第一部は記念式典。はじめに、出席者全員にて厳かに国歌斎唱。続いて、日本会議愛知県本部の重富亮会長より挨拶。重富会長からは、紀元節を寿ぐ内容に加え、来る四月の統一地方選に挑戦される南部ふみひろ氏の紹介も頂いた。また、こ来賓を代表して前衆議院東郷てつや様よりも「挨拶を頂戴した。最後に、決議文の採択・紀元節の歌の齊唱、大東塾 磯貝正温様の発声による聖寿万歳を全員で三唱。第二部は、「れきべん」でお馴染みの久野潤先生の「講話」「国をまもつてきた先人達の戦い」を聴講。

近江神宮の祭神であらわれる天智天皇のお話、白村江の戦いにまつわるお話、持統天皇によって初めての「遷宮がなされたお話、応仁の乱にて中断となつた」と、遷宮が織田信長によつて復活されたお話を聞いた。

戦艦伊勢に祭られた船内神社は神宮の由緒ある分社であるお話、ワシントン海軍軍縮条約のお話など、久野氏は弁舌爽やかに国史のさまざまなエピソードを縦横無尽に語られた。その一つ一つのエピソードは目から鱗のお話が多く、参加者一同興味深げに聞き入つてゐた。久野氏の熱弁により、予定より講話の時間が長くなつてしまつたのだが、そのことも気にならぬ程の白眉のお話しだつた。久野氏は、講話の最後を、「日本人は、過去の日本人が如何にして戦つてきたか知らなくてはならない。また、後世に伝えなくてはならない」と結ばれた。先人の戦いを想い、そしてそれを心から感謝する参加者全員の感動の余韻がいつまでも会場に満ちあふれていた。

（愛知県本部事務局 脇山博文）



西春日井支部 街宣活動実施報告

今日は二月四日(水)～ようやく愛知県知事選挙も終わり、待ちに待つた西春日井支部の街宣活動再開です！去年の秋ごろから早朝、通勤客に向けてのJR枇杷島駅前の『憲法改正』の街宣は自治会長のM田さん(七三)が手伝つてくださっています。M田さんは私は私たち尾張人が夏の始まりを感じる『尾張西枇杷島まつり』で知り合いました。色々話しているうちに考へが近いことが分かり、街宣のお手伝いを頼んだところ快く引き受けくださいました！M田さんは現役時代、大手ゼネコンの営業マンだったそうで人に語りかけるのがものすごく上手です。街宣中に私の声の速度とか抑揚などを注意してくださいます。時々は街宣の



（愛知県本部事務局 服部守孝）



科の自主研究員長令夫人とお嬢様二人が参加され和国を取り上げて発表された報告があり、大層お喜びだった大使のお顔が印象に残つた。

サンマリノ共和国  
マントリオ・カデロ大使を  
お迎えして

原稿なども書いてくださいますので、助かっています。そして去年の年末には日本会議の会員にもなつてくださいました！『そのうち自分も（街宣で）マイクを持つて話すから、ちょっと待つてよ』というM田さん。憲法改正、本当に実現しなきやダメですよね！期待しております！

（西春日井支部長 水田美子）

報告・名古屋東部支部  
第十七回勉強会、街宣実施！

二月十五日(日)

（第一部）午前九時～十一時四十五分【勉強会】

●会場 野並ミニティーセンター ●参加者十

名●テーマ「戦後保守運動史」

今回は服部守

孝事務局長をお招きし、学生運動時代を中心

に日本を守る国民会議、日本青年協議会での

活動について、「自身の体験を交えて」講話戴

きました。当時の国民世論に鑑み、如何に苦労

されたかを拝察します。こうした先輩方の不断

の努力により、今日の日本会議の基盤が築かれ

たことに感謝と尊敬の念を禁じ得ません。参加

者一同襟を正し、決意を新たにした次第です。

（第二部）午後二時～四時【街宣・憲法改正】

●参加者四名、先月は知事選の為空振りに終わった街宣

ですが、今回は四支部から一名ずつの参加で

りました。やはり最低でも四名は集まらないと

効果的なチラシ配布や署名活動ができる、よ

り多くの参加者を募ります。活動中、アパホテ

ル名古屋錦の森本マネージャーより温かい缶

コーヒーの差し入れがありました。この場をお借

りして御礼申し上げます。

（名古屋東部支部長 江崎雅博）

陵墓参拝記 その二

知恩院から花園天皇陵を参拝し、次は青蓮院宮上ノ墓地と青蓮院宮下ノ墓地に向かいいます。便利サイトをみると青蓮院門跡に入場するのではなく北へ通り抜けて三条通を右に曲がりしばらくして更に右に曲がり南下するルートとなっています。しかも陵墓の中でも最も行きにくい場所である？と紹介されています。不思議に思ひながら向かいました。尊勝院といつお寺の中を通り過ぎて山道を進むとなつてましたが、尊勝院手前で右手の金網フェンスの中を覗くと「おやつ」墓地があります。しかも鉄格子の扉らしきものが確認できます。便利サイトのルートマップ上の位置からするとどうも青蓮院宮下ノ

平成二十七年四月

船には公開してしません。」  
「では、急  
のため電話で宮内庁書陵部月輪陵  
墓監区事務所にも尋ねましたが、や  
はり一般には参拝できないとのこと。  
なるほど一般には参拝できない東京  
の護国寺内にある豊島岡墓地であ  
れば四方を堀で囲みしつかり門扉を  
閉じて非公開とできますが、京都東  
山山麓ではそれができないため侵入  
できてしまう」ということでした。結果  
不法侵入ということですが、これは皇  
室の弔祭を願い皇室を尊崇する気  
持ちに免じてお許しいただいたいと  
思います。本日最後の目的地は南禪  
寺の後嵯峨天皇皇后妃子粟田山陵  
と龜山天皇分骨所です。歩くと十  
五分ほどかかりますが節約のため歩  
きました。南禪寺三門の右側の舗装  
路を歩き法堂の横あたりで右に折れ  
ます。

本人は鶴で欲しい映画だ。夜は、金山神社にて戦争展全体会議に参加六日(金)所用にて伊賀上野市に一泊。子供の頃、父より「我が家の先祖は伊賀にある」と聞かされており成人した後、研修会で伊賀服部家は南朝方であったことを学び、嬉しく思ったものだ。今は宅地造成で伐採されたが、実家には樹齢三百年ほどの大楠があつた。我が家の中は、楠を植えて南朝方を誇りとしてきたのだ。

十日(火)キリストの幕屋の山口玄示さん告別式へ。突然の訃報だった。山口さんは、新しい歴史教科書をつくる会の運動に挺身されて来た方である。会合ではいつも熱情溢れる発言をされ、その言葉通りに行動された。参列者全員の万歳三唱で天に召されて行かれた。

墓地らしいのです。しかし便利サイトに従い上ノ墓地へ向かうことにしました。尊勝院を通り抜けて山道に入りました。山道を大きくなるりと回ることになっています。とりあえず便利サイトで下ノ墓地は上ノ墓地からさらにハイキングコースのような山道です。二十分ほど進むと山の尾根みたいなどうに出てしましました。間違いです。既に汗だくです。尊勝院へもどつて再度青蓮院側への分かれ道を探します。道か?という分かれ道ありました。程なく行った所の右手下方に見えてきました。フェンスがあります。ですが、そのフェンスにつかまらなくては降りられないほどの斜面をおりたところに青蓮院宮上ノ墓地はありました。なるほどこれは青蓮院の敷地内らしく正面からは行くことが叶わぬ裏からお邪魔したような感じです。合掌。であれば、下ノ墓地も生ほどの尊勝院手前のフェンスの切れ目を探せば行けるはず。案の定フェンスの端の藪を搔き分け搔き分けお邪魔することができました。合掌。下ノ墓地からは簡単に青蓮院の表に回ることができました。普通に青蓮院に拝観料を納めて参拝することはできませんのかと念のために青蓮院のお坊さんに尋ねました。すると答えは「青蓮院宮上ノ墓地、下ノ墓地ともに一

水路閣の下までもどり右手の階段を上つて南禅院に入場します。拝観料は三百円。そう亀山天皇分骨所は有料の南禅院の庭の中にあるのです。合掌。(二)南禅院は亀山天皇の離宮であり、ここで出家あそばされ法皇となりになつたそうです。南禅寺発祥の場所であるそうです。今年初めての陵墓参拝はこうして終了しました。

(愛知県本部事務局 松川秀康)

## 事務局日誌(二月)

### 服部守孝

事務局日誌（二月）

服部守孝

二十一日(土)第四十一回日本協議会全国大会参加のため、四名が同乗して伊勢へ。  
二十二日(日)大会一日目の早朝内宮正式参拝。天照大神様の「  
加護とお導きをいただき、憲法改正を成し遂げて行きたい。夕方、名古屋に帰り、学生時代に指導いただいた先輩を囲んで懇親会。  
懐かしい話題に花が咲いた。

二十五日(水)オイスカ議員連盟主催によるサンマリノ共和国特命全権大使のマンリオ・カデロ閣下の講演会で、送迎係りを仰せつかつた。また、友人の奥さんと長女、次女も参加されたが、次女が中学校社会科の自主研究でサンマリノ共和国を取り上げ、クラス発表されたとの報告があり、大使も大

十六日(日)名古屋東部支部一月定例会で「戦後保守運動の歴史」と題して二時間講演。今日の日本会議に至るまでの運動史を体験に基づきお話しした。

十七日(火)遠来の友人を案内して、旧稲武町の古橋懐古館へ二年ぶりに訪れた。「こは、篤農家の古橋源六郎翁が収集した、維新の志士の遺墨が多数展示されている。その後、白鷺温泉に一泊したが、シーズノオフで全館貸切だった。

十四日(土)名古屋青年会議所主催による講演会へ。名古屋能楽堂が会場となつたが、ほぼ満席の六〇〇名の参加者があつた。登壇者は、竹田恒泰氏、井沢元彦氏、千秋季頼氏、京本和也氏の豪華メンツ

十一日(水)第十三回日本の建国を祝う愛知県民の集いを開催。講師は、若き歴史学者の久野潤先生。一五〇名の参加者で盛況となつた。(詳細は一面)

## 愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 4月5日(日)午前8時開始、9時終了予定。
  - 引き続き5月3日(日)午前8時より実施予定。
  - 軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社屋の木枠拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。
  - ★3月1日は、10名の方が参加していただきました。雨のため社殿窓枠の拭き掃除をしました。9時より日次祭にも参列しました。ありがとうございました。



(1月4日 奉仕後に撮影)

●「日本の息吹」を引き続きご購読くださいよう  
お願いいたします。

予行事

名古屋東部支部四月定例会

一十八日(土)南部ふみひろ後援会事務所が、いよいよ明日開設されると云ふ。室内清掃や装飾のお手伝いをして、万全を期した。

後藤昭(正会員)※支援会員より移行  
中屋操(正会員)※支援会員より移行  
平子慎太郎(正会員)※支援会員より移行

種別順入会日順：敬称略

**新規入会者紹介**  
**(平成二十七年一月)**



「美しい日本の憲法をつくる愛知県民の会」設立大会  
日 時 平成二十七年五月二十七日(水) 午後二時開会～四時閉会  
会 場 熱田神宮会館  
次 第一部 第一部 設立大会  
第二部 記念講演 舞の海秀平氏(大相撲解説者)  
会員費 五百円